

令和7年度奄美群島の宝を次世代につなぐ助成事業

番号	申請者	事業種別	市町村 (申請者住所)	事業費
1	NPO法人親子ネットワーク がじゅまるの家	環境学習	徳之島町	¥110,000
	～五感で季節を楽しむしぜんあそび～ 毎月第3土曜日に認定エコツアーガイドを講師とした海岸や川での観察会+体験活動を開催			
2	(一社) 金見あまちゃんクラブ	環境学習	徳之島町	¥241,320
	「金見崎イノー」(イノー:礁池)を自然の水族館に見立てた海の生き物観察会を開催			
3	THINKING OF KIKAI	郷土教育	喜界町	¥26,942
	「環境・自然・地域・未来」をテーマとし、高校生と大人のトークセッションを開催。 その他、学生と地域を結ぶためのイベントを開催。			
4	赤組(中伊仙)こども育成会	郷土教育	伊仙町	¥300,000
	①島料理教室 ②昔のおもちゃ作りワークショップ			
5	古仁屋小学校PTA	郷土教育	瀬戸内町	¥288,640
	小学6年生を対象に大島紬のアクセサリ製作体験を実施。			
6	NPO法人ゆいむすび実行委員会	環境学習	龍郷町	¥300,000
	「鈴木香里武といっしょに集めヨウギョ!」奄美市と和泊町の2か所開催。岸壁周辺で漂着ゴミと暮らす幼魚をタモ網で採集し、生態観察を行うほか、岸壁清掃や講師によるトークイベントを行う。			
7	徳之島ゲストハウスみち	郷土教育	伊仙町	¥131,266
	唄者と共にバスで島唄に歌われる場所や集落を巡り、実際に現地で島唄を聴く企画の実施			
8	NPO法人徳之島虹の会	環境保全	伊仙町	¥270,000
	外来種「ムラサキカッコウアザミ」の駆除・普及啓発			
9	瀬戸内町立池地中学校PTA	郷土教育	瀬戸内町	¥52,500
	戦後80周年を契機とし、加計呂麻島の軍事戦跡のフィールドワークを実施。平和教育。			
10	金見集落	環境学習	徳之島町	¥296,768
	金見海岸清掃・環境教育2/8			

合計 ¥2,017,436

【徳之島町】五感で季節を楽しむ自然あそび（※生き物観察会など）

事業種類：環境学習活動

申請者：NPO法人親子ネットワークがじゅまるの家

日時：令和7年6月21日(土)、7月19日(土)

7月21日(祝)

場所：井之川公民館など 徳之島島内

対象者：小学生以上親子

人数：子供49人、大人22人、合計71人

助成金：110,000円



(内容)

① 6月21日(土)

つりざお作りに挑戦

・近くの山に行き、竹を切り、竹からつりざおをつくる

② 7月19日(土)

鍾乳洞を探検しよう！小島鍾乳洞：暗川

③ 7月21日(祝)

手作りのつりざおで魚つりに挑戦！前回作った釣竿を使って魚釣りをおこなう

フィールドワーク：認定エコツアーガイドを講師とし、山・海などの観察会+体験活動実施

3回の活動を通して、島内でも知らない場所や初めて行った場所に行くことができた。自然環境に関する環境学習活動や保全活動、こども達の意識向上につながる事ができた。環境問題についても考えることができたと思われる。普段経験しないこと、昔の生活から今の生活を知る経験することができた。子どもも大人も楽しく学ぶことができた。



【徳之島町】自然の水族館で生き物観察会

事業種類：環境学習活動

申請者：(一社)金見あまちゃんクラブ

日時：8月10日(日) 7時～13時

場所：徳之島町金見海岸

対象者：島内児童生徒とその家族

人数：子供11人、大人14人、合計25人

助成金：241,320円



(内 容)

7:00～ スタッフミーティング（スタッフの体調確認、フィールド安全点検、熱中症対策確認など）

8:00～ 参加者受付 8:30～ 開会式

9:00～ 生き物観察スタート

・砂浜エリア ⇒ イノーの砂浜に近いエリア ⇒ イノーの沖に近いエリア ⇒ イノー内の海流が強いエリアと順番に観察。各エリアにおいて講師より地形の成り立ちや生息する生き物（サンゴなども含む）について紹介。

参加者は、生き物を触ったり、網で採集したり、講師や専門員に分からないことを聞いてみたり、観察を進めた。

・採集した生き物を公民館に持ち帰り、どのような生き物がいたのか、全員で共有した。

・講師よりここ数年での生き物の種類や数の変化や、環境変化の影響の可能性について説明があり、参加者も環境変化に対する興味を示していた。

・最後にアンケートを書いてもらい、13時に閉会した。

【喜界町】事業名・高校生がつくる島を盛り上げるイベント（地域活性、文化継承、環境問題）

事業種類：郷土教育

申請者：THINKING OF KIKAI

日時：2025年11月16日（日）

場所：喜界町休養村管理センター

対象者：喜界町在住の高校生と町民

人数：子供約40人、大人約110人、合計約150人

助成金：26,942円



（内 容）

喜界高校生で結成されたボランティアグループ「喜界島の宝`s」が中心となり、「喜界島についていつまでも考え、話そう」を理念に活動をする任意団体「THINKING OF KIKAI」が後援で行われたイベントです。

①高校生が見る島の風景の写真展示

大事にしたい島の風景、自分の好きな島の風景写真を募集し、展示を行う。

②高校生が作るステージ

フラダンスや歌、太鼓や島の踊りでプログラムを組み、高校生がやっている島の伝統の伝承やみんなで楽しむことの伝承、地域の方に発表の場として行う。

③高校生から見た喜界島のトークセッション

「環境問題」「島の今と未来」のテーマごとに3人の高校生とのトークセッション

島のことをどんな目で見ているか、どんなふうを感じているかを実際に声に出して思いを伝えてもらう。

④クイズコーナー

方言や島のことにに関するクイズを作り、来場した子どもたちに楽しんでもらう。



【伊仙町】①島料理教室

②昔のおもちゃづくりワークショップ

事業種類：郷土教育活動

申請者：中伊仙(赤組)こども育成会

日時：①9/14(日)9:00～15:00 ②11/1(土)13:30～16:30

場所：①町交流ひろば「ほーらい館」 ②伊仙小学校

対象者：伊仙町(特に中伊仙地域)の小学生の親子

人数：①子供15人、大人11人、

②子供20人、大人12人、合計58人

助成金：300,000円

(内 容)

地域の文化に詳しい島内の奄美群島認定エコツアーガイドを講師として、①島料理教室と②昔のおもちゃ作りワークショップを実施。

①島の植物やその植物の活用等に詳しい認定エコツアーガイドを講師に招いて、食べられる植物や伝統産物の黒糖などについて学んだあと、サタ天ぷらや鶏汁、油ソーメンなどを作った。作った料理は、同日実施された中伊仙集落の敬老十五夜祭りで提供し、地域のお年寄りに振舞われた(料理材料費は集落費より支出)。

②講師や参加者が持ち寄った、集落に自生する植物を使い、ハロウィンにちなんでお面作りを実施した。

講師は、日頃より学校の環境教育等でおもちゃ作りの指導に慣れた認定エコツアーガイドに依頼し、植物の紹介などもしてもらいながらお面を完成させた。また、集落の高齢者より伝統の踊り「意見口説」も教わり、お面をつけた子どもたちは地域の老人ホームなどを回り、踊りを披露した。



【瀬戸内町】大島紬アクセサリ作成体験学習

事業種類：郷土教育活動
申請者：古仁屋小学校PTA
期間：R7.9.2～R7.12.22
場所：古仁屋小学校工作室
対象者：古仁屋小学校6年生
参加人数：児童45人、大人0人
合計45人
助成金：288,640円



(内 容)

古仁屋小学校の6年生（45人）が奄美大島に伝わる「大島紬」を全員で織るという体験を通し放課後の時間を活用し約3ヶ月間をかけ、大島紬を織りあげました。瀬戸内町大島紬養成所の伝統工芸士を指導員として招き、地域の方々や保護者の協力をいただき「大島紬」を児童5人一組でチームを編成し生糸をボビンに巻き取り、巻き終わったら、コレを杼（ひ）にセッティングし、拵を合わせて、足を踏み変えて、箆（おさ）を打ち込んでの繰り返し作業を児童が代わる代わる「締機」で織る工程に向き合いました。

織りあげた「大島紬」をもとに、卒業記念品として製作の学習も進め、児童ひとり一人、デザインに工夫を凝らし製作しました。

※ 製作期間：令和7年9月2日～令和7年12月22日



【奄美市、和泊町】鈴木香里武といっしょに集めヨウギョ！2026

事業種類：環境学習活動

申請者：NPO法人ゆいむすび実行委員会

日時：2026.3.20（奄美市）、

2026.3.22（和泊町）共に1部：9～11時半、2部：13時～14時半

場所：（奄美市）知名瀬港、奄美海洋展示館

（沖永良部）伊延港、和泊町中央公民館

対象者：全年齢

人数：子供75人、大人61人、合計136人

助成金：300,000円

（内容）

【午前の部】岸壁採集体験

午前、漁港の岸壁において幼魚採集体験を実施した。参加者はたも網を手に、岸壁に寝そべりながら幼魚の採集に取り組み、子どもから大人まで世代を超えて夢中になる姿が見られた。

漂着ゴミ周辺に多くの幼魚が生息している様子を実際に観察することで、身近な海の世界と生物の関係性について理解を深める機会となった。また、採集と並行して岸壁のクリーンアップ活動も行い、45L袋2袋分の漂着ゴミを回収した。

初開催となった沖永良部では、「漁港でこれほど多くの魚が採れるとは思わなかった」といった声上がり、岸壁という身近な環境に対する新たな気づきを提供する結果となった。

【午後の部】幼魚の生態解説（鈴木香里武氏）

午後は、鈴木香里武氏による講話「幼魚の生き様」を実施した。小さな体で生き残るための戦略として、擬態や行動の工夫、環境への適応など、幼魚それぞれの特徴について具体的な事例を交えて解説が行われた。

午前中に実際に採集・観察した幼魚と結びつけた内容であったため、参加者の理解が深まり、「分かりやすく学びが多い」「子どもでも理解できる説明だった」といった評価が多く見られた。

また、「また参加したい」との回答が多数を占めており、体験と学習を組み合わせた構成の有効性が確認された。さらに本事業は地元紙にも掲載され、岸壁幼魚採集の魅力や教育的意義が広く発信された。



【伊仙町】中島清彦先生と行く！しまうたバスツアー

事業種類：郷土教育活動

申請者：徳之島ゲストハウスみち

日時：2025年12月6日 9:30~15:00

場所：伊仙町中部

対象者：徳之島の中高生及びその保護者

人数：子供3人、大人29人、合計32人

助成金：131,266円



(内 容)

徳之島を代表する唄者であり、島唄の歌詞理解にも造詣の深い中島清彦氏と、お囃子の鶴幸子氏、奄美群島認定エコツアーガイドである常加奈子氏（旅友Tokunoshima）の3名を講師にお招きして、参加者32名と共に大型バスで集落などを巡って、その地にまつわる島唄を現地で演奏していただいた。9:30に犬田布岬に集合し、祝いの席などで初めに歌われることが多いという「島朝花」を聴いて、バスに乗り込み出発。バス車中では常氏によるその土地の解説を聞きながら、阿権浜・鹿浦漁港・伊仙集落を經由して、天女伝説の残る義名山の拝み処で「天地天降（テンチアモレ）」、泉芳朗記念像の前で「日本復帰の歌」を演奏。その後、阿権集落の前里屋敷で昼食をとり、中島氏が同地で開催している三味線教室生徒による演奏も披露された。午後は女神・男神の悲恋伝説が伝わる中山集落の中山神社で、同伝説を主題にした「朝花節 中山風」を演奏したのち、闘牛大会での掛け声「ワイド」の元となったとされる八重竿集落を通過して、犬田布岬に帰着。徳之島で宴会などがあった際、必ず締めくくりに演奏される「ワイド節」「六調」を参加者全員で輪になって踊り、解散となった。バス車中や昼食会場での演奏も含めて、全14曲が演奏された。自身も島唄を習っているという中学生の参加者からは「自分の知っている節回しや歌詞と異なっていて、学ぶことが多くあった。また島内でも行ったことのない場所ばかりで新鮮だった」という感想が聞かれた。

【伊仙町】三京林道 外来種駆除

事業種類：環境保全活動

申請者：NPO法人徳之島虹の会

日時：令和7年11月24日

場所：三京林道（天城町）

対象者：三京林道周辺の子ども及び地域住民

人数：子供17人、大人31人、合計48人

助成金：270,000円



(内 容)

2021年7月に世界自然遺産に登録された徳之島。

三京の森は遺産のコアエリアにあたりますが、現在、鹿児島県の「重点啓発種」に指定されているムラサキカッコウアザミが大繁殖して問題になっています。地元校区に住む子どもたちに、身近な場所にある世界に誇れる自然に対して興味関心を持ってもらいたいという考えから、西阿木名小学校・三京分校子ども育成会に協力いただき、教職員や保護者を含めて48名の参加者と共に外来種駆除を行いました。

少人数のグループに分かれて、それぞれの班に奄美群島認定エコツアーガイドが同行し、作業現場まで自然観察をしながら進みました。その後は2地点に分かれて駆除作業を実施。参加者が多かったため、作業も捗りました。

子どもたちからは「三京林道を守るために駆除できてよかった。ずっと自然を守っていきたい」「今まで外来種のことを考えたことがなかった。これからはもっと考えていきたい」「みんなでやると楽しい!」という声が上がりました。保護者からは「親子参加の普及啓発イベントは、楽しみながら学べてとてもいいと思った」「子どもに自然の楽しさ、雄大さを体験させることができた」などの感想をいただきました。

【瀬戸内町】加計呂麻島（実久地区）戦跡フィールドワーク

事業種類：郷土教育活動

申請者：池地中PTA

日時：1月29日7時20分～13時20分

場所：加計呂麻島実久地区

対象者：池地中生徒及びPTA会員

人数：子供1人、大人5人、合計6人

助成金：52,500円



（内 容）

加計呂麻島（実久地区）の軍事遺跡（近代遺跡）のフィールドワークの実施

1 目的

- （1）加計呂麻島の軍事遺跡（近代遺跡）をフィールドワークすることにより、請島以外の郷土（瀬戸内町）のことを知る。
- （2）戦後80年にあたり、戦跡を見学することにより平和であることの有り難さを知る。

2 見学場所

- （1）実久砲台跡
- （2）三浦海軍艦船給水ダム跡

3 感想

（1）生徒

今回のフィールドワークに参加して、瀬戸内町には数多くの歴史ある構造物や豊かな自然があることを改めて知った。弾薬庫やダムなどの軍事施設を見て、戦争当時の奄美でも敵に見つかりにくくしたり戦いやすくしたりの工夫がされていることを初めて知った。また、実久ブルーとして有名な実久海岸を実際に見て美しいと感じた。このような近代遺跡と自然を若い世代の私たちが受け継ぎ、未来へ残していく必要があると感じた。そして平和な世界であってほしいと願った。ありがとうございました。

（2）PTA会員

今回初めて訪れたところばかりでしたが、ガイドの方の豊富な知識や情報のおかげで加計呂麻島の貴重な歴史遺産について学ぶことができました。また、歴史遺産を巡る中で加計呂麻島の豊かな自然も感じられ、これからの奄美が、美しい豊かな自然を葆ち、平和な地域であってほしいと感じました。このような貴重な体験ができたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

【徳之島町】金見海岸清掃会

事業種類：環境保全活動

申請者：金見集落

日時：令和8年2月8日(日) 午前9時～12時

場所：徳之島町金見海岸（奄美群島国立公園）

対象者：島内の児童・生徒とその家族及び地域住民

人数：子供23人、大人137、合計160人

助成金：296,768円

(内容)



金見海岸は、島内有数のウミガメ産卵場、オカヤドカリ放幼地である。高い自然価値を有しながらも、冬季の北東風により多国籍な海洋プラスチックゴミが大量に漂着し、生態系への悪影響が危急の課題となっている。
漂着ゴミの回収活動は、単なる清掃作業ではなく、島の未来を担う子供たちが地球規模の環境問題を直接体感する『環境教育の機会』と位置づけ、現場での実践を通じて環境保護意識を醸成し、持続可能な社会の実現に向けた具体的な行動変容を促すことを目的として実施した。



・分別方法の事前レクチャー
10種類ものゴミの分別。
分別サンプルで学習。
なるほど分かり易い。



・海岸での漂着ゴミ回収
大小様々な漂着ゴミ。
自分が拾うゴミを決め
しっかり分別。



・漂着ゴミの解説
どこから来たゴミ？
誰かが海に捨てたの？
僕は捨てないよ！



・分別場所までの運搬
海拔差数十メートル、
傾斜45度以上の坂道。
高校生が本領発揮。



・10種類の分別作業
回収したゴミを最終
チェック。習った通り
にしっかり分別。



・トラックへの積み込み
集まったゴミを種類ご
とに分けてトラックに
積み込み、運び出し。

本事業では、金見海岸における漂着ゴミ回収を通して子供たちへの環境教育を実施した。認定エコツアーガイドから子供たちへ、漂着ゴミがどこの国のものか？なぜ環境悪いのか？どうすれば改善されるのか？など環境問題（特に多くのプラスチックゴミがマイクロプラスチックとなり海の生態系へ影響を及ぼし、結果的には魚を食する人類にまで影響がある事など）に関して回収作業しながら説明を行った。また、分別方法や回収されたゴミがこの後どうなるのかなど、子供たちが自ら身近に関わり易い環境問題対策(ゴミ拾い)の正しい知識も伝えることができた。今季最強の寒波、暴風で、寒い上に、砂が顔を叩く悪天候の中、歩くのも大変な砂浜における回収活動、そして海拔差数十メートル、傾斜45度以上もある未舗装の坂道を協力しながら運び上げる高校生や大人たちの姿は、子供たちにとって憧れの存在となり、その大人たちと一緒に頑張ったことに、達成感や自己肯定感も高まったと考える。集まったゴミは、2tトラック5台、軽トラック9台分のゴミとなった。参加した子供たちからは、「海外からのゴミの多さにびっくりした！」「海の生物たちが死なないためにがんばった！」「地域の役に立ててよかった！」「自然を守ってゆかねば！」「機会があればまた参加したい！」といった声が聞かれ、目的は達成できたと考える。今後もこのような環境教育の機会を増やし、島の宝(子供)を育て、島の宝(自然)を守っていきたいと思う。